

各位

平成23年9月9日

近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室 広報 担当：立花
(TEL:03-3257-1661)

旅行取扱状況の概観（平成23年7月分）

海外旅行の取扱は団体旅行では、東日本大震災と節電要請の影響が継続しており、特に一般団体は延期、自粛による間際申し込みの大幅減等や昨年の上海万博特需に変わるものがないこともあり、前年比48.7%と前年を大幅に下回った。学生と合わせた団体計でも前年比56.4%であった。企画旅行は需要が戻ってきたことに加えて円高等の効果もあり103.1%と前年を上回った。個人旅行は前年比87.0%と前年を下回った。その結果、海外旅行合計としては、前年比86.9%と前月とほぼ同じ水準であった。

一方国内旅行の取扱は、一般団体が復興需要の取り込みや大型の宗教イベント（遠忌）等により比較的堅調に推移し、学生団体も震災移行団体の実施が重なり好調に推移した。団体計では104.6%と5ヶ月ぶりに前年を上回った。企画旅行は回復基調がさらに鮮明となり、前年比88.2%と8ポイントほど回復した。個人旅行も前月より若干回復し83.7%であったが前年は下回った。その結果、国内旅行合計としては前月より若干回復し、前年比90.5%であった。

外国人旅行は、引き続き震災よりも原発事故の影響が甚大で、訪日団体のほとんどが取消になっていたが、少しずつではあるが回復傾向が見受けられるようになり前年比64.7%であった。

結果、7月の総取扱額は、前月よりも1.2ポイント回復し前年比88.9%の結果であった。

※ 月次取扱額は、KNTとKNT北海道、KNT九州の合算額となります。

以上